⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

平2-155885

@int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

國公開 平成2年(1990)6月14

B 62 K 11/10

7535-3D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4]

砂発明の名称

スクーターのフレーム

發粹 願 昭63-306826

郊出 随 昭63(1988)12月6日

@ 発明 者

徳 永

徴 秋

曾岡県浜名郡可美村若林222

の出願人

鈴木自動車工業株式会

静岡県浜名郡可美村高塚300番地

社

⑩代 理 人 弁理士 藤本 博光 外2名

18 M 21:

1. 発明の名称

スクーターのフレーム

2. 特許請求の範囲

朝落を上方に高くしてヘッドパイプを審督した メインパイプの後端に、復怒を両切に試けた左右 の補強パイプを審者し、網板モノコック型にした 使フレームの前下部をメインパイプの機能と左右 の補強パイプの上に乗せて音響するようにしたこ とを特徴とするスクーターのフレーム。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

(発明の目的)

この発明は、的部の研究戦のメインパイプ 雑に後部を両側に基げた左右の補効パイプを して左右の補強パイプの間にエンジンの前様

特開平 2-155885□

ができるスクーターのフレームを得ることを目的 とする。

(発明の構成)

以下、本美明を製画に示す実施例によって説明 する。

- 3 -

(発明の効果)

は、からいいでは、 は、ないでは、 は、ないでは、 ないでは、 るようにしてある。後フレームらは、前部がい物入れ111にしてあって、物入れの上側にト12を投替する。又、数入れ111の投制に数例タンク13などを収留するようにしてあ後フレーム9の後部は、テールカバー14では物には、一連に見えるようにテールランプを取付ける。

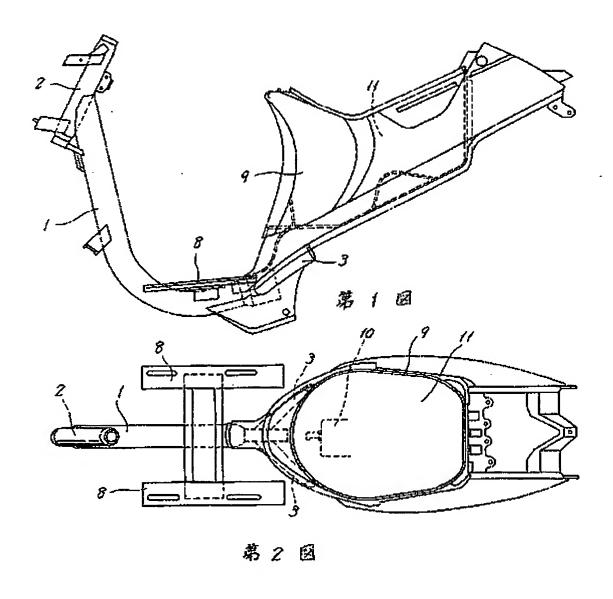
(発明の作用)

- 4 -

1 … メインパイプ、2 … ヘッドパイプ、3 … 補強パイプ、9 … 後フレーム。

出版人代型人 麼 本 時 光

特開平 2-155885(



特別平 2-155885(

